

母性看護方法論

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 蛎崎 奈津子 教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座、看護学部		
対象学年	2	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	後期		
単 位 数	2 単位		

・学習方針（講義概要等）

新しい家族の誕生のスタート時期にあたる妊娠期および分娩期にある対象の身体的・心理社会的特性を理解する。そして、母児ともに健康な妊娠経過および分娩経過をたどることを促す基本的な看護のあり方を学ぶ。具体的には、妊娠期の母体の生理的变化、胎児の発育と生理的变化、妊娠期の心理社会的特性、妊娠期の看護、分娩の要素と経過、分娩期の看護、各期の異常、看護過程（事例展開）、看護ケアの実際について学修する。

・教育成果（アウトカム）

妊娠期・分娩期にある対象者の生活と健康を支えるための対象の特性を学ぶことにより、妊婦・産婦および胎児の健康の保持増進と異常を予防するために必要な母性看護の基本的知識および技術を習得することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 4, 5, 7

・到達目標（SBO）

1. 妊娠経過に応じた母体の身体的、心理・社会的変化・特徴について説明することができる。
2. 妊娠経過に応じた胎児の成長・発達について説明することができる。
3. 分娩の機序について説明することができる。
4. 分娩経過に応じた母体の心身の変化・特徴ならびに分娩進行が胎児に及ぼす影響について説明することができる。
5. 妊娠期及び分娩期にある対象者の生活と健康を支えるための看護の基本について説明することができる。
6. 妊娠期及び分娩期の異常について、そのメカニズムと対象に与える影響を理解し、異常時の対応及び早期発見・予防にむけた看護の役割について説明することができる。

・ 授業日程

(矢) 東 2-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
9/27	金	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	妊娠の経過① ・ 妊娠初期におけるアセスメントの視点について理解できる
9/30	月	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	妊娠の経過② ・ 妊娠中期におけるアセスメントの視点について理解できる
10/4	金	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	妊娠の経過③ ・ 妊娠後期におけるアセスメントの視点について理解できる
10/7	月	2	看護学部	西里 真澄 非常勤講師	妊娠期の看護① ・ 妊婦と胎児の健康を支える看護援助方法の基本について説明できる
10/11	金	2	看護学部	西里 真澄 非常勤講師	妊娠期の看護② ・ 妊婦の日常生活を支える看護援助方法の基本について説明できる
10/28	月	2	看護学部	西里 真澄 非常勤講師	妊娠期の異常 ・ 妊娠期の異常について、そのメカニズムと母子に及ぼす影響を理解する ・ 異常時の対応及び早期発見・予防の基本について説明できる
11/8	金	4	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	分娩の機序 ・ 分娩の3要素を柱に分娩の機序について説明できる

11/11	月	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	分娩の経過① ・分娩第1期および第2期におけるアセスメントの視点について理解できる
11/18	月	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	分娩の経過② ・分娩第3期および第4期におけるアセスメントの視点について理解できる
11/22	金	4	成育看護学講座	遊田 由希子 講師	分娩期の看護① ・心身ともに安全な分娩に向けての観察項目や看護援助方法について説明できる
11/27	水	2	成育看護学講座	遊田 由希子 講師	分娩期の看護② ・安楽で分娩進行を促す看護援助方法の基本について説明できる ・小グループによる小型骨盤模型を用いて胎児の産道回旋の基本について体験的に理解できる
12/2	月	2	成育看護学講座	遊田 由希子 講師	分娩期の異常 ・分娩期の異常について、そのメカニズムと母子に及ぼす影響について理解できる ・異常時の対応及び早期発見・予防の基本について説明できる
12/4	水	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	看護過程① ・妊娠初期の事例に基づき看護過程を展開することができる
12/9	月	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	看護過程② ・妊娠中期および後期の事例に基づき看護過程を展開することができる
12/12	木	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	看護過程③ ・分娩期の事例に基づき看護過程を展開することができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護	中込さと子、他著	メディカ出版	2019
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践	小林 康江、他著	メディカ出版	2019

・成績評価方法

定期試験 100%にて評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、予習した上で講義に臨むこと。講義終了後は教科書や配付資料、ノート等にて復習を行い、次回の講義に臨むこと。各授業に対する事前事後学修時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

レスポンスカード、課題等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

助産師（別表 1）：基礎助産学

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 母性看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影